

**平成 20 年 東海大学  
入学試験問題**

**数 学**

**(医 学 部)**

**— 2月 6 日 —**

次の空欄を埋めなさい。

解答は、分数の場合には既約分数の形で書きなさい。

- 1 (1)  $f(x) = \frac{3x+4}{2x-1}$  の逆関数は、 $f^{-1}(x) = \frac{\text{ア}}{\text{イ}}$  である。

(2) 方程式  $\log_2 \sqrt[3]{x} - \log_4 4x^3 + 8 = 0$  の解は、 $x = \boxed{\text{ウ}}$  である。

(3)  $|\vec{a}| = 3$ ,  $|\vec{b}| = 2$ ,  $|\vec{a} - 2\vec{b}| = 3$  のとき、 $|2\vec{a} + \vec{b}| = \boxed{\text{エ}}$  である。

(4)  $f(x) = \frac{\sin 2x}{\sin^2 x}$  とする。 $t = \sin x$  とおくと、 $f'(x)$  は  $t$  の式として表され、 $\boxed{\text{オ}}$  となる。

(5) 右図のように自然数を配置したとき、1の右に並んでいる数の列を  $\{a_n\}$  とする。たとえば、初めの3項は、 $a_1 = 2$ ,  $a_2 = 11$ ,  $a_3 = 28$  である。

(i)  $a_n = \boxed{\text{カ}}$  である。

(ii)  $\sum_{k=1}^n a_k = \boxed{\text{キ}}$  である。

↓	←	←	←	↑	←	←	↑
↓	37	36	35	34	33	32	31
↓	38	17	16	15	14	13	30
↓	39	18	5	4	3	12	29
↓	40	19	6	1	2	11	28
↓	41	20	7	8	9	10	27
↓	42	21	22	23	24	25	26
↓	43	44	45	46	47	48	49
↓	→	→	→	→	→	→	→

- 2 (1) 自然数  $m$  の正の約数の総和を  $S(m)$  で表す。たとえば、 $S(10) = 1 + 2 + 5 + 10 = 18$  である。

(i)  $p$  を素数、 $n$  を自然数とすると、 $S(p^n) = \frac{\text{ア}}{p-1}$  となる。

(ii) 自然数  $a$ ,  $b$  の最大公約数が 1 のとき、 $S(ab) = S(a)S(b)$  となる。

(iii)  $n$  を自然数とし、 $2^{n+1} - 1$  が素数のとき、 $m = 2^n(2^{n+1} - 1)$  とおく。 $S(m)$  を  $m$  を用いて表すと  $S(m) = \boxed{\text{ウ}}$  である。

(iv)  $i$ ,  $j$  を自然数とするとき、 $m = 2^i 3^j 5$  の形をしていて、 $S(m) = 3m$  となる最小の  $m$  は  $\boxed{\text{エ}}$  である。

(2)  $xy$  平面上で  $x$  座標と  $y$  座標がともに整数である点を格子点とよぶ。 $m$ ,  $n$  は自然数で、 $O(0, 0)$ ,  $A(m, 0)$ ,  $B(0, n)$  とする。次のように  $L$ ,  $M$ ,  $N$  を定める。

- $L = \Delta OAB$  の内部にある格子点の個数
- $M = \Delta OAB$  の内部または周上にある格子点の個数
- $N = \text{辺 } AB \text{ 上にある格子点の個数}$  ただし点 A, B は除く

このとき、 $m$ ,  $n$  を用いて表すと

(i)  $2L + N = \boxed{\text{オ}}$  である。

(ii)  $2M - N = \boxed{\text{カ}}$  である。

(iii) ゆえに、 $\Delta OAB$  の面積は  $L$ ,  $M$  を用いて  $\boxed{\text{キ}}$  と表せる。

3

(1) 次の定積分を計算し、因数分解した形で表しなさい。ただし、 $a, b$ は定数とする。

(i)  $\int_0^a x(x-a)(x-b)dx = \boxed{\text{ア}}$

(ii)  $\int_a^b x(x-a)(x-b)dx = \boxed{\text{イ}}$

(2) 関数  $y = f(x) = x^3 - 3x^2 - 3x$  のグラフを  $G$  とする。グラフ  $G$  上の2点  $(0, 0)$  と  $(4, 4)$  を通る直線は  $G$  ともう1つの点 ( $\boxed{\text{ウ}}$ ,  $\boxed{\text{エ}}$ ) で交わる。 $G$  とこの直線で囲まれる图形は図1のように2つできる。これら2つの图形のうち面積が大きい方の图形の面積は  $\boxed{\text{オ}}$  である。

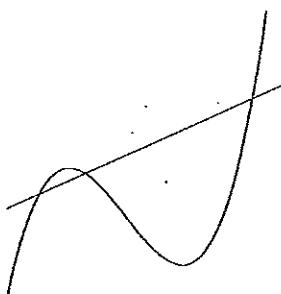


図1

(3) 一般にグラフ  $G$  上の点  $(0, 0)$  と点  $(a, f(a))$  ( $a > 0$ ) を通る直線  $L$  と  $G$  で囲まれる图形は1つまたは2つできる。そのうち面積が大きい方（小さくない方）の面積を  $S(a)$  と書く。ただし、 $G$  と  $L$  で囲まれる图形が1つのときは、その图形の面積を  $S(a)$  と書く。たとえば  $S(4) = \boxed{\text{オ}}$  である。

(i)  $L$  が  $(0, 0)$  における  $G$  の接線になっているとき、図2のように  $G$  と  $L$  で囲まれた图形は1つの图形からなる。このとき  $a = \boxed{\text{カ}}$  かつ  $S(\boxed{\text{カ}}) = \boxed{\text{キ}}$  である。

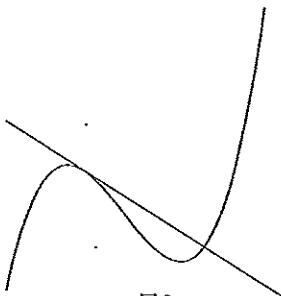


図2

(ii)  $0 < a < \frac{3}{2}$  における  $S(a)$  の最小値は  $\boxed{\text{ク}}$  である。